
テンプレではない!?

最上 誠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テンプレではない！？

【Nコード】

N1033Z

【作者名】

最上 誠

【あらすじ】

車に轢かれそうになっていた子供を助けて異世界転生かとおもっていたのに！なぜこうなった！
主人公がいろいろ頑張ります。

プロローグ

真白い何もない空間に俺はいた。

「・・・ここはどこだ？」

まさかアレか？と思っっていると。

「ここは世界の狭間だ。むらかみしやういち村上正一」

来たか！神！

「・・・分かるのが速すぎないか？」

だってよ、ここまで来たら神しかないだろうと。

しかも、普通に考えてる事が分かっているし。

「まあ、神だからな。」

ということとは、やはりアレか！

「どれだ？」

ここは、やっぱり転生そしてチート！

「いや違うが。」

ちがうの！？

「違うな。」

なぜよ！

「それはアレだ。お前死んだときの事覚えてるか？」

？覚えてるぞ。確か学校の帰り道で道路を渡ろうとしてる子供がい

て、ちょうど車が来て、んで、ひかれようとしていた処を俺が助け

たんだよな？

だから、俺はテンプレ的に転生だと思っただよ。

なに？違うの？

「ああ。まずそこが違ってるんだよな。」

？そこ？

「その助けたつてところ。」

「・・・えっ、どゆこと？」

「まあ。まずこれを見る。」

〈回想〉

正一は学校から帰っていると道路を渡るうつとしている子供を見つけた。

すると子供に向かって車が走ってきた。

「つつ！危ない！！」

車に轢かれそうになっている子供を見つけた正一は、間一髪のとこ
ろで子供を突き飛ばした。

そして正一は、車に轢かれた。

（ちゃんと助けてんじゃん。）

（この後をよく見る。）

（？）

次の瞬間に反対車線から来た車に轢かれた。

〈回想終了〉

・・・え、マジ？（。！。く）

「マジだ。」

じゃあ俺死んだ意味。

「・・・ないな。」

・・・

「もう1つあるんだが。」

・・・まだあんの、なんだ？

「お前死ぬ予定なかったんだよ。」

まあ、だろうな。

「だから天国に空気がないんだよ。」

・・・まさか！やはり転生か！

「いや、だから違う。」

でも、行くところないんだろ？

「・・・いちようある。」

何処だよ？

「・・・・・・・・地獄。」

・・・・・・・・え？（。o。）マジ？

「・・・・・・・・マジ」

・・・・・・・・

「・・・・・・・・」

いやいやいや！ないから！しかも、よりによって、なぜに地獄！

「すまん！もちろん！ただでとは言わない！」

なんだよ。なんかあんのか？

「いろいろ能力を付けておく。だから、がんばってくれ！さらば！」
ちよっ！まって！

そして、正一は、地獄に落ちた。・・・・完
いや、おわんねーよ！

プロローグ（後書き）

素人投稿なので下手糞ですがいろいろお許しください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1033z/>

テンプレではない!!?

2011年12月3日22時51分発行